



月例山行 多度山 403m 1月11日

参加者：中村、柴橋、水谷、畑中、織田

▲ 7:15 名城公園集合。穏やかな曇り空。一般道で多度に向かった。8:25 健脚コース登山口に近い愛宕神社駐車場に駐車。8:35 登山開始。尾根に出るまでは、樹林帯の急な登りを進んだ。8:50 五合目で休憩。その後、木の階段が少なくなり砂利が多くなりだした。合目表示の近くには大小様々なケルンが作られていた。9:25 多度山上公園の芝生広場に出た。



▲9:35 高峯神社や休憩所がある多度山山頂に到着。東に眺望が開け、木曾三川と濃尾平野が眼下に広がり、名駅の高層ビル群も遠望できた。ほどなく天気が急変し、寒風が吹き細かな霰が舞いだした。昼食休憩もほどほどに 9:55 下山開始。ウッドチップが敷いてあり、多少のアップダウンのある瀬音の森コースを進んだ。10:15 中道コース分岐から中道登山コースを下った。比較的緩やかな尾根ルートだ。霰は止み、日が差すこともあった。ルート後半には、シダ植物の多さが目を引いた。

▲11:35 獣ゲートに到着し一般道に出た。多度大社に参拝しようとしたが、遠くの階段に続く参道の長蛇の列を見て諦めた。多少の道迷いはあったものの 12:25 駐車場に到着した。天候変化の激しい一日であったが、適度なコース状況で月例山行を楽しむことができた。

——写真：畑中、記録：中村

山頂から名駅のビル群を望む



各地で山火事多発 1月12日

▲山火事が多発している。ヘリの空中消火でも鎮火は困難。S46年には広島で18人の消防士が殉職という痛ましい記録も残されている。

山を活動の場とする我々も十分に心したい。



横浜・川崎・東京消防庁の消防ヘリ3機 陸上自衛隊も対応にあたる



山梨県の山火事は延焼収まらず ヘリで上空から消火予定

スリー・ドッグ・ナイト

アメリカのロック

バンドではない。豪州の先住民アボリジニの言い伝えと言う。1、2匹では足りない、3匹の犬と寄り添って眠るほど寒い夜と言う意味。大寒のこの時期にテント旅行をしたことがある。羽毛の寝袋でも地べたに体熱を奪われて眠れない。野宿すると、屋根、壁、布団、水道、トイレ、電気、ガスの有難さが身に染みる…（1/21 中日新聞 夕）。

これが当たり前の日常であろう。冬山の幕営山行、穂高の雪山での1週間程の冬合宿は、今思えば大変だった。装備をはじめ食料、情報、車と随分便利、快適になったとつくづく思う。

雪山登山の装備一覧

●帽子
ニット・フリース素材などの耳を覆う帽子。耳当てとの併用でもOK

●インナー
保温性・速乾性のあるものがよい。その上にフリースのジャケットやセーター等の防寒具を着用。

●手袋・靴下
ニット・フリース素材のインナーグローブに雪山用の防水性のあるオーバーグローブを着用。靴下はウールもしくは化繊の厚手のものを。インナーグローブ、靴下は予備を必ずお持ちください。

●ダブルストックまたはピッケル
雪山登山ではストックを使っている方も、雪山ではバランスを取るためにも必需品です。雪山で使う際は、雪に埋まらないようにストック先端のリングを雪用の大きなバスケットに交換してください。
※ピッケルは一部コース（熟練コース）のみの使用となります。

●サングラス・ゴーグル
雪面の太陽光反射による雪目（紫外線による目の損傷）を防ぐため、必需品です。

●ザック
日帰りなら20リットル前後、1泊2日なら35～45リットル程度が目安。

●アウター
防水性のある登山用雨具の上下。気象条件の厳しい中級以上のコースでは、より防水性の高い雪山用のアルパインウェアの上下を着用。

●ズボン
動きやすく伸縮性のあるもの。シープスなどの乾きにくい綿素材はNG。

●スパッツ
靴に雪が入るのを防ぎます。雪山用のショートタイプのもはNG。

●冬山用登山靴
防水性・保温性のある冬山用の登山靴。